

平成28年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞事例の概要

【農林水産大臣賞】

～ 地域の農業を守り、楽しく元気な地域づくりを目指す！ ～

受賞団体：農業生産法人エコファーム蔵王株式会社（宮城県蔵王町）

◆むらづくりの背景・経緯

エコファーム蔵王株式会社が所在する蔵王町平沢地区は、平成11年度から県営ほ場整備事業に着手した。平成15年3月に、ほ場整備地区の担い手として農地集積を図りながら地域農業を守り、稲作に限らない農産物の生産、販売活動を展開するため、北部営農生産組合（組合員10名）を設立した。将来の担い手不足や安定した農業経営に対する不安を克服しなければとの思いから、農地の集積と地域に貢献するという長期ビジョンを描き、平成18年9月に1年間の検討を経て北部営農組合を発展的に解散し、個別担い手農家12戸とJAみやぎ仙南を構成員として、「地域の農業を守り、楽しく元気な地域づくりを目指す！」をスローガンに「農業生産法人エコファーム蔵王株式会社」を設立している。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

①地産地消、②地域活性化、地域住民の交流拠点③食育や農業体験・観光に関する情報発信拠点として農産物直売所「産直市場みんな野」を開設した。

品質向上と6次産業化への取り組みとして、平成23年に色彩選別機を導入して米の出荷品質の向上を図っている。これにより自社生産米は全量が一等米となり、自社生産米を「蔵王源流米」と名付け、ブランド米として直売所のほかに、インターネット販売にも取り組んでいる。また、地場農産物を活用した蕎麦打ち教室や漬物教室など、年間を通して様々なイベントを開催し、消費者や住民の交流拠点ともなっている。



「産直市場みんな野」
取り扱い商品の一例



○生活・環境整備面

「産直市場みんな野」周辺を拠点として、春及び秋に花壇用苗物類の植栽を中心に環境美化活動に取り組んでいる。また、蔵王町交流活動推進協議会に参画し、小学校児童を対象としたみやぎ蔵王山麓自然体験学校や各種団体を対象とした蔵王山麓自然の学び舎の活動に積極的に取り組んでいる。

地域の課題を直視し、地区全体で地域づくりに取り組んでおり、これからの地域農業の担い手として、むらづくりの主役として、積極的に活動する意欲も旺盛である。



田植え体験教室